

第3回瑞浪市市民まちづくり会議 会議録

■日時：平成30年3月5日(月) 19:00～20:50

■場所：瑞浪市役所 西分庁舎1階会議室

■出席委員

山田幸男、有賀政光、大野正博、中山征治、大森建生、長谷川孝夫、
渡邊勝利、橋本孝晴、石原健嗣

欠席委員

小林哲也、遠藤里絵、額瀨圭太

[名簿順 敬称略]

■事務局

加藤誠二（まちづくり推進部長）

兼松美昭（市民協働課長）

横井宏之（市民協働課まちづくり支援係長）

小木曾匡洋（市民協働課まちづくり支援係主事）

■日程

1. 会長あいさつ
2. 「瑞浪市の行政改革」について
3. 審議事項
(1) 取組推進方針に基づく取組の個別検証
4. 協議事項
(1) まちづくり全般に関する取組検証提案について
5. その他

■議事

事務局 定刻となりました。ただいまより、第3回瑞浪市市民まちづくり会議を開催します。会議の議長は会長が務めることとなっておりますが、会議冒頭部分のみ事務局の私、兼松において議事進行をさせていただきます。よろしく願いいたします。

本日の会議には、集落支援員2名を出席させております。稲津町担当の尾崎、明世地区担当の山口です。両名は前回同様、それぞれのテーブルにオブザーバーとして入り、皆さんと一緒に意見交換をさせていただきます。

なお、本日は小林委員と遠藤委員におかれましては、ご欠席との連絡を受けておりますので、ご承知おきください。

また、額瀨委員におかれましては、ただいま電話連絡により確認をしております。

それでは、お手元のレジメに沿って進めさせていただきます。山田会長、ごあいさつをお願いします。

【1. 会長あいさつ】

会長 皆さん、こんばんは。春の嵐の中お集まりいただき、ご苦労さまです。一雨ごとに春が近づくと言われますが、私の家の裏山、畑では梅が5分咲き、今朝は鶯のささ鳴きが聞こえてきました。一步一步春が近づいています。本日は全4回のうち、第3回目となります。今日の後半の部では、付箋を使ったワークショップ形式も用意されているようです。それぞれが積極的に意見を出していただき、協議を深めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございます。本日の会議は、委員12名中、現在のところ9名の出席ということで、委員の過半数の出席があり、本会議の開催要件を満たしていることを報告させていただきます。この後は、条例の規定に従ひ、会長に議事を進行していただきます。それでは、山田会長、お願ひいたします。

会長 これより会議を進めてまいります。委員の皆さまには、慎重な審議をお願ひしたいと思ひます。この会議は、会議運営規程により公開の会議となっております。事務局、本日のこの会議の傍聴希望者はありますか。

事務局 ありません。

会長 傍聴希望者なしということで、レジメに従ひ会議を進めたいと思ひます。それでは、本日の流れについて、事務局より、簡単に説明をしてください。

事務局 <配布資料の確認>

本日は事前アンケートにより抽出をしていただいた中から、「行政改革の促進と評価」を取り上げて、検証を進めていただきたいと思ひます。

まず、市の取組の一つでもあります、出前講座により、現在進めている「行政改革」が一体どんなものなのか、理解を深めていただきたいと思ひます。行政改革のイメージを掴んでいただいた後、前回同様、グループに分かれての検証に移っていただきたいと思ひます。説明は担当の企画政策課より行ひます。

なお、行政改革の中身については別の附属機関で審議がされております。当会議では、中身についてではなく、まちづくりの5つの原則に基づいた視点からの取組検証をお願ひします。

会長 それではレジメの2.「瑞浪市の行政改革」について、企画政策課より説明をお願ひします。

企画政策課 <出前講座による説明>

【2. 審議事項】

会長 ありがとうございます。それでは、3. 審議事項について、(1) 取組推進方針に基づく取組の個別検証に移ります。引き続き、企画政策課より「行政改革の促進と評価」の取組状況の説明をいただいた後、20時15分までを目安に検証していきたいと思えます。目安の時間になりましたら、前回同様、各テーブルの発表者の方から、どんな意見が出されたか発表してください。

企画政策課 <資料③取組概要シートに基づき説明>

会長 それでは、本日のテーマについて、各テーブルで検証を始めてください。

<2グループに分かれ、「行政改革の促進と評価」について意見交換を実施>

会長 審議が続いているようですが、時間となりました。5分間の延長をしましたが、まとめづらいテーマでもあったかと思えます。出された意見をそのまま発表していただくような形でも構いません。各テーブルから発表をお願いします。

<1グループ発表>

出された意見の紹介をもって、発表と代えさせていただきます。

各地域で各種行事が盛んに行われ、参加者数が増えているようです。しかし、同じ方が何回も参加をされる一方で、参加しない方は全然参加していないという状況ではないかと思われます。参加していない方を参加させる、参加していただく方策が何かないかという意見がありました。

人口減少が年々進んでいますが、これは瑞浪市だけに限った課題ではなく、各市町村が抱えている大きな課題ではないかと思えます。人口減少をいかに止めて、増やしていくにはどうしたら良いか。答えはなかなか出ませんが、最も大きな課題だと思います。

高校、大学を卒業すると、ほとんどの若者が他所へ出ていってしまいます。これは市内に就職先が少ないからではないでしょうか。ソニー工場跡地に「エイダブリュ瑞浪」が進出されるそうですが、第二、第三の企業が続けて進出してくれるような市になるといいと思えます。

最近、地域の行事には、子どもたちの参加がすごく増えていると実感しています。子どもが参加すると、親御さん、祖父母も参加をされます。今後も子どもが参加しやすい行事を企画、実施していくと良いのではないのでしょうか。

昔と比べると、地域の絆が弱まっていると感じます。どうしたら良いか。隣近所でも話をする機会が減っています。特に用事が無いからと言えばそれまでですが、昔のような強い地域の絆を持つことが、これからは重要になるのではないかと思います。

<2グループ発表>

あまりまとまっていませんが、出された意見を紹介させていただきます。

行政では、情報発信の仕方、行政に対して市民の理解が得られているであろうかといったところが課題となるのではないかということでしたが、それに対し、現段階の進捗度としては、概ね良好ではないかという意見がありました。今後は、市民への周知を徹底するように、更に努力をしていく必要があるのではないのでしょうか。市民への周知の仕方については、本日のような出前講座を計画的に、地域を絞って開設するなど、その他様々な各種講座を、行政側から積極的に地域に働きかけたら良いと思います。

大きな課題である人口減少についてですが、私は「住んで良かったまち」、「これからもずっと住み続けたいまち」を目指し、まちづくりを進めたいです。実際には、住みやすいまちであり、市民に危機感が無いということも事実です。地域住民の方に何か興味を持っていただき、人口減少に歯止めをかけていきたいです。行政としては、地域懇談会などを通して地域の情報収集をし、あるいは実情を聴きながら今後の施策を進めていくということですが、そのためにも、多くの地域住民が参加されることを期待します。

会長 ありがとうございます。それぞれのグループから発表していただきました。特に感想、質問や意見などがあればお願いします。

委員 行政改革について、意見交換を進めました。もう一方のグループの発表を聴いて、当グループで議論された内容とちょっと違ったかな、と感じました。どちらかといえば、行政改革の取組についての意見というより、まちづくりの活性化についての意見が多かったように思いますが、そのあたり、いかがでしょうか。

委員 検証シートの項目にもありますが、市民の役割・できること、行政の役割・やるべきことといったところで、市民側が行政改革を受けてどう動いたら良いかというところから考えていきました。

会長 事務局、いかがでしょうか。

事務局 担当課が同席する中で、発言しにくいこともあったかと思います。この会議では、忌たんのないご意見をいただければ幸いです。時間が短く、まとまらない部分もあったかと思いますが、他の委員さんの意見も参考にいただき、検証シートに書き出して提出いただければと思います。

会長 本日は、非常に難しいテーマだったかと思います。最初はどこから切り込んでいってよいのか、どういう意見を出せばよいのか不安もありました。それぞれのテーブルにおける慎重審議ありがとうございました。

【3. 協議事項】

会長 時間も押していますが、3. 協議事項に移ります。(1) まちづくり全般に関する取組検証提案について、事務局より説明をお願いします。

事務局　　本日は、時間も迫っておりますので、次回に向けた説明だけとさせていただきます。こういう場が初めての委員さんもみえますので、意見が少しでも出しやすいようにワークショップ形式で進めていきたいと思えます。付箋に書いて発表しながら貼っていくものです。テーマの自治会及びまちづくり推進組織の支援のための活動拠点について、活動拠点を充実させるためのご協力をいただきます。こちらをご覧ください。模造紙に項目を分けております。人的な面、施設運営の面、集落支援員の活動に関すること、市民の参画方法、子ども及び若者参加への配慮を設けています。前回お配りしたものに少し項目追加をしています。どの部分でも結構ですので、意見を出していただき、そのことについて、あるいはその他のことについて協力を進めていただきたいと思います。次回までに、メモ程度で結構ですので書き出しをしておいていただけると幸いです。

会長　　ただいまの事務局の説明に対し、何か質問はありますか。

＜意見なし、質問なし＞

会長　　それではここで協議事項は終了とさせていただきます。次回会議で検証をスムーズに進められるよう、各自持ち帰っていただき、自分なりの意見や考えを整理しておいていただきますようお願いいたします。本日検証した内容等について、意見や感想、またアドバイスなどありましたらお願いします。

委員　　本日審議したテーマについて、感想等述べさせていただきます。

「行政改革とは一体何なのか」と言えば、行政目標を合理的に達成することです。重要なのは、適切なエビデンスに基づき、現状を明確に示すこととなります。統計には、レトリックが含まれます。つまり、不都合なものは出さないということがあれば、これは、現状ではないということになります。これでは、せつかく外部委員会を設置しても効果が十分に発揮されません。ですから、現状を適切かつ明確に示すことが重要になると感じます。出された現状について、分析をしっかり行い、適正な総合計画であるか、否かを見極めなければ意味が無いものとなります。総合計画は「こうあったらいいな」という目標であり、達成がまったく届かないということであれば意味が無いものとなります。そのためには、行政改革をしっかりやらないといけません。ただし、まちづくりの主体は住民であるということを忘れてはいけません。いかに住民の感覚を取り込むかが必要となってきます。住民が主体性を持って取り組めるよう、行政は仕組み作りを工夫しなければなりません。そのためには、前提として、現状を可能な限り開示することが必要です。住民が情報を持てば、行政やまちづくりに対し、そこから関心が生まれてくるのではないのでしょうか。そのあたりの部分について、今後精査が必要となるのではないのでしょうか。

会長　　貴重なアドバイス、ありがとうございました。

【4. その他】

会長 続いて、5. その他について事務局よりお願いします。

事務局 <今後の流れについて事務連絡>

事務局において会議録を作成し、郵送させていただきますのでご確認ください。また、検証シートにつきましては、次回会議までにご提出をいただきますよう、お願いいたします。次回は6月上旬ごろの開催を予定しています。日程はあらためて調整させていただきたいと思っておりますので、ご承知おきください。

会長 本日は長時間にわたり慎重な審議をいただき、ありがとうございました。
最後に有賀副会長のあいさつで閉会にしたいと思います。

副会長 皆さま、お疲れのところ長時間にわたる審議、お疲れ様でした。少し早く終わりましたので、後輩のある社長から聴いた話を紹介させていただきます。皆さん、キャンプファイアの炎を思い出してください。火は下から点けます。上から点けても、下までうまく燃え広がりません。これを会社に例えると、トップの社長、役員がいくらがんばっても、勢いは従業員まで伝わりません。従業員が盛り上がりこそ、会社が上の方まで盛り上がります。これをまちに例えると、市や市のトップの方が一生懸命やっても、市民に火が伝わってこないと盛り上がりません。ですから、市民一人ひとりが盛り上がるのが、まちを盛り上げていくことに繋がっていくことだと思います。一昨年青年会議所で20歳から40歳までを対象に市民アンケートを実施しました。1,600人ほどから回答が得られました。その中で「瑞浪を好きかどうか」の問いに対し、50%ほどが「好き」の回答、残りは「好きではない」、「どちらでもない」、「どちらでもない」という回答が多かったように記憶しています。好きと回答した人について検証してみましたところ、まちの魅力を知っている人が「好き」と回答している割合が高かったです。まちのことをよく知らないので、瑞浪を好きだとは言えないのだなと思いました。そこから青年会議所では、ライク・ラヴ・リヴ、の3L（スリーエル）宣言をしました。まちを知り、知ることにより好きになり、好きになることで住み続ける、です。本日議論したこともここに繋がるなと感じました。

まだまだ寒暖の差もあります。皆さま、体調にはご自愛をいただき、お過ごしいただければと思います。以上をもちまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

【散開】